

本町の子育て環境の整備について

令和2年度の国勢調査によれば、本町の人口増加率7.7%は県内1位で全国16位。

年少人口14.8%も県内1位である。

この結果は長年のまちづくりの成果であり喜ばしいことであるが、最近では共働き家庭の増加や幼児教育無償化の影響もあるのか保育所の待機児童が発生している。

令和3年4月で9名、保留児童は19名である。

第五次開成町総合計画の「未来を担う子どもたちを育むまち」の中では、待機児童対策や放課後児童クラブ待機児童対策についての計画が示されているが、早期に対策し子育て環境を充実させる必要があると考える。

また子育てする時に重要視される公園も本町では大小46ヶ所も設置されているが、駐車場や遊具が設置され子どもも親も楽しめる公園が少ないとの声がある。

今後も駅前通り線周辺地区土地区画整理事業などにより人口増加が見込まれ、それに対応し安心して楽しく子育てが出来る環境を整えることは本町の今後のまちづくりにとっても極めて重要であると考え次の事を問う。

- 1 町内における待機児童の現状とその対策は。
- 2 放課後児童クラブの5、6年生受け入れ検討の状況は。
- 3 子育てで利用し易い駐車場や遊具を備えた質の高い公園づくりを目指す考えは。